

簡易円弧推進工法 - Mini PLAD -

1. はじめに

管理設において、水路や小河川横断(障害物等)工事を早く安全に施工するための工法として開発したものです。

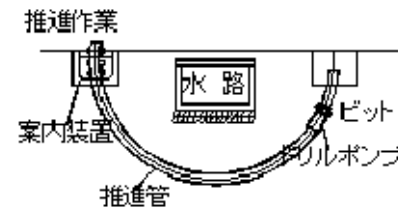
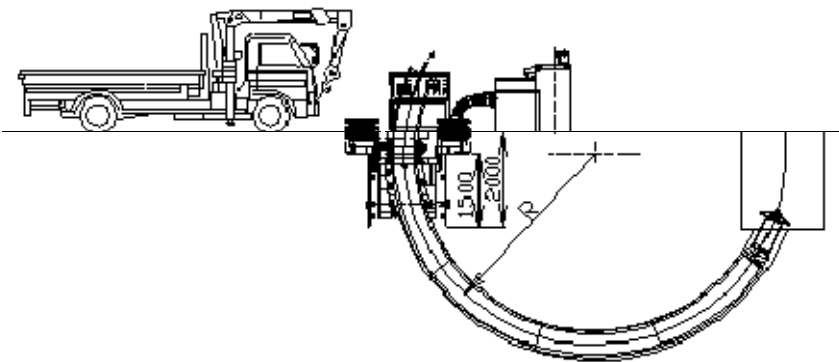
2. 工法の概要

(1) 工法の説明

短距離推進用として円弧状の鋼管(鞘管)を用い、地上から地上へ推進し、推進完了後、本管(PE管)を敷設するものであり、安全性、経済性に優れた工法です。

(2) 工法の概要

簡易円弧推進工法システム図



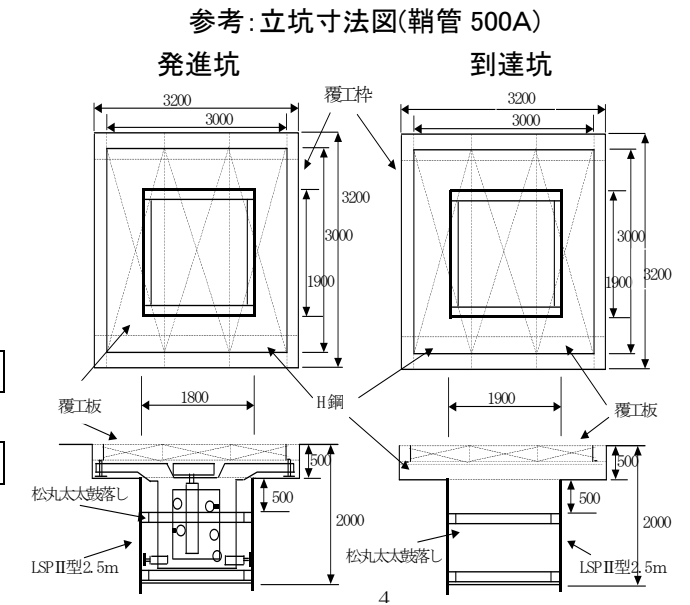
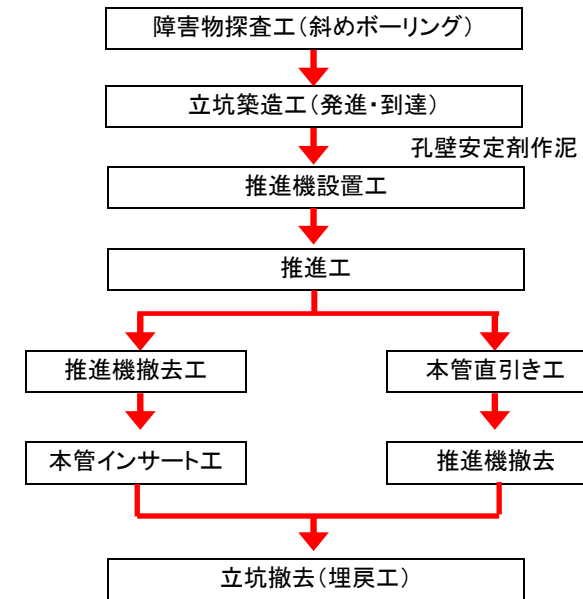
(3) 適用範囲

管種	口径	曲率半径	備考
K	100A	3.5mR	500A の敷設は直
P	~500A	4.5mR	引き式のみ
P	100A	5.5mR	直引き式も可
E	~200A		

3. 工法の特徴

- 立坑スペースが小さいため、狭隘な場所でも施工可能です。
- 立坑が浅く薬液注入などの補助工法を必要としません。
- 立坑築造が容易で、補助工法が不要のため工期短縮・工事費の低減が可能となります。
- 推進作業は全て地上で行うため、安全性の高い工法です。
- 本管は二重管式、直引き式の敷設工法が可能です。

4. 作業フロー



5. 本管敷設法

① 二重管式(PE管)



※パイプ曲げ加工: 蒸気



② 直引き式



6. 実績

お問い合わせ下さい。